

高知商 猛打呼ぶ好返球

◇2回戦 (第4試合)

高知商 (高知)	1	7	0	4	0	0	0	0	0	12
慶応 (北神奈川)	2	0	0	2	0	0	0	0	2	6

①…高知商が2試合連続の2桁得点で打ち勝った。一回、先頭の前田、西村の連打で先行すると、二回は相手のミスに4長短打でつけこみ7得点。12安打で12得点を奪った。慶応は高知商を上回る14安打を放ったが、相手の好守にも阻まれ、6点止まりだった。

高知商が2度のバックホームで流れを引き寄せた。1点を先取した直後の一回、エースの北代がわずかに3球で無死満塁のピンチを背負った。ここで左前安打を打たれ同点とされたが、本塁を狙った二塁走者を左翼・藤高からの好返球でアウトに。1死一、二塁からは右前安打を処理した前田が本塁へ正確に返球し、二塁走者をアウトにした。こ



一回裏慶応無死満塁、広瀬の適時打で三塁走者に続き、二塁走者の大川も本塁を狙うがタッチアウト。捕手乗松

【高知商】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
前田	5	5	2	1	0	1	0	0	0
西村	5	5	2	1	0	0	0	0	0
藤田	5	5	2	0	0	0	0	0	0
生井	5	5	2	0	0	0	0	0	0
栗金	5	5	2	0	0	0	0	0	0
小林	5	5	2	0	0	0	0	0	0
計	5	39	12	12	10	8	3	2	1

【慶応】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
尾川	4	4	1	2	1	0	0	1	0
山下	4	4	1	2	0	0	0	0	0
藤田	4	4	1	2	0	0	0	0	0
生井	4	4	1	2	0	0	0	0	0
栗金	4	4	1	2	0	0	0	0	0
小林	4	4	1	2	0	0	0	0	0
計	4	36	6	14	5	4	2	1	0

投手	回	打	安	振	球	失	責
北代	9	39	14	4	2	6	4
生井	3	25	9	3	2	12	5
井部	5	19	3	6	0	0	0

山下(北代) 藤田(西村) 生井(藤田) 栗金(栗金) 小林(外) 2時間9分

●森林監督(慶) 「一回の攻撃で本塁で二つ刺されて、二回は守備のミスが出て、悪い流れを食い止められなかった。相手の勢いこのみこまれた」

●生井(慶) 四回途中12失点。「決め球は見逃され、少しでも甘い球は捉えられ。途中からは、どうしても打ち損じてくれるのか、と。実力不足です」

慶応のみこまれた

2戦連続2桁得点 25年ぶり3回戦へ

【高知商】 強力打線が2試合連続で爆発し、夏25年ぶりの3回戦進出を果たした。初回は1点を先制。続く2回には、打者一巡の猛攻で一挙7得点。2試合連続の2桁得点を刻んだ。この日、打線をけん引したのは、7番藤田。春に打てなく

て、打線の切れ目と言われ悔しかった。自分が得点源になろうと思った。この悔しさを晴らすように、高知大会では驚異の打率5割7分1厘。この試合でも、3安打4打点と大暴れした。

【慶応】 創部130周年の伝統校は、2回戦で姿を消した。102年ぶりの優勝

◇12日 第4試合 ◇開始17時13分◇観衆39,000									
【高知商】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
前田	5	5	2	1	0	1	0	0	0
西村	5	5	2	1	0	0	0	0	0
藤田	5	5	2	0	0	0	0	0	0
生井	5	5	2	0	0	0	0	0	0
栗金	5	5	2	0	0	0	0	0	0
小林	5	5	2	0	0	0	0	0	0
計	5	39	12	12	10	8	3	2	1
【慶応】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
尾川	4	4	1	2	1	0	0	1	0
山下	4	4	1	2	0	0	0	0	0
藤田	4	4	1	2	0	0	0	0	0
生井	4	4	1	2	0	0	0	0	0
栗金	4	4	1	2	0	0	0	0	0
小林	4	4	1	2	0	0	0	0	0
計	4	36	6	14	5	4	2	1	0
○北代真二郎	9	39	14	4	2	6	4		
●生井淳一	3	25	9	3	2	12	5		
渡部淳一	5	19	3	6	0	0	0		
○本塁打	山下1号(2ラン=北代) 藤田(2回) 藤田(4回) 生井(2回) 大川(2回) 奥村(2回) 前田(9回) 走塁死 大川(1回) 広瀬(1回) 藤田(8回) 暴投 生井(2回、4回) 捕逸 善波(2回) 盗塁 生井(2回) 審判 栗金(球) 前坂、古川泰、宅間(塁) 小林、金丸(線)								
○時間	2時間9分								
○審判	栗金(球) 前坂、古川泰、宅間(塁) 小林、金丸(線)								
○高知商	39 12 10 8 3 2 1								
○慶応	36 6 14 5 4 2 1 0 3								

朝日新聞 2018年8月13日

日刊スポーツ 2018年8月13日

【注】学年の白又キは左打者、黒は両打ち

を失いながらも完投した。慶応は1回に5安打を集めたが2点しか奪えず、流れをつかみきれなかった。

を奪って逆転。4回にも4点を加えた。藤田は3安打4打点の活躍。北代は6点